

8-2. 管路施設のチェックリスト

表-8-2-1 緊急点検・緊急調査チェックリスト

調査日時		記録者	
地区名		図面番号	人孔番号
道路種別	国道・県道・市町村道・私道・砂利道・農道 その他 ( )		管理者
占用位置	車道・歩道・その他 ( )		写真No
調査項目	路面との段差	段差なし・段差あり (浮上約 cm、沈下約 cm)	
	周辺路面状況	異常なし・陥没・隆起・亀裂・噴砂・噴水・その他 ( )	
	蓋の状況	異常なし・破損・ずれ・その他 ( )	
	車両通行の可否	可・非 (人孔浮上、路面陥没のため車両通行困難 )	
	マンホールからの溢水	溢水なし・溢水あり、バキューム車 不要・必要	
	中継ポンプ	異常なし・停電による停止・機器の故障による停止	
	真空弁ユニット (マンホール内)	異常なし・異常あり	
	真空ステーション	異常なし・異常あり	
緊急措置及び応急復旧の有無	無・有 安全柵設置・路面すり付け その他 ( )		
被災状況、 緊急措置及び 応急復旧工事 状況写真	NO. 1 (人孔浮上状況)		NO. 2 (上流路線周辺路面状況)
	NO. 3 (下流路線周辺路面状況)		NO. 4 (蓋状況)
	NO. 5 (安全柵設置状況)		NO. 6 (路面すり付け状況)

表-8-2-2 一次調査・二次調査チェックリスト

都道府県		被災自治体		調査主体					
調査日時		地区名		記録者					
人孔番号		人孔深							
人孔種別	0号・1号・2号・塩ビ・レジンコンクリート・その他( )組み立て・現場打ち								
中継ポンプ	起動・停止(故障・停電)								
真空弁ユニット	起動・停止(故障・停電)								
道路種別	国道・県道・市町村道・私道・砂利道・その他( )								
占用位置	車道・歩道・その他( )				写真No				
人孔障害状況	路面との段差	段差なし・段差あり(浮上約 cm、沈下約 cm)							
	周辺路面状況	異常なし・陥没・隆起・亀裂・噴砂・噴水・その他( )							
	蓋の状況	異常なし・破損・ずれ・その他( )							
	ふた受枠状態	異常なし・破損・ずれ・その他( )							
	調整コンクリート	異常なし・破損・ずれ・その他( )							
	斜壁	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他( )・不明							
	直壁	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他( )・不明							
	インバート	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他( )・不明							
	滞水状況	なし・滞水深( cm) ※H=H2-H1							
	土砂堆積状況	なし・土砂堆積( cm)・不明							
悪臭の発生	なし・あり・住民から苦情あり( )								
汚水の流出	なし・あり・住民から苦情あり( )								
危険物の流入	なし・あり・住民から苦情あり( )								
管口状況	路線番号								
	管種・管径(mm)								
	位置(下図No)	下流No1	No2	No3	No4	No5	No6	No7	No8
	本管突込み	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明
	本管拔出し	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明
	破損	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明
	浸入水	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明
	写真No								
	本復旧の必要性	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要
	二次調査の必要性	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要
応急工事の実施	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	
管内状況	異常なし・たるみ・土砂堆積・滞水・その他( )								
総合判定	復旧(布設替)の必要性	要・不要							
	二次調査の必要性	要・不要							
	バキューム車の必要性	要・不要							
	応急工事の実施	要・不要							
備考・略図		<p>The diagram shows a top-down view of a circular manhole with eight numbered pipe openings (No. 1 to No. 8). No. 1 is the outlet pipe (下流管口), and No. 2 to No. 6 are other openings. No. 7 and No. 8 are also labeled. A cross-section of the manhole shows a cover (蓋・受枠) and an adjustment block (調整ブロック) at the top. Below is a sloped wall (斜壁ブロック) and a straight wall (直壁ブロック). The water level (WL) is indicated, and the water depth (H) is shown as the distance from the WL to the bottom of the manhole. The bottom is divided into two sections, H1 and H2.</p>							

\* 注1) 本表は基本的には一次調査用とするが、地震の規模や集落排水施設の被害状況等により、調査項目が変わることもあり、特にその被害が広域にわたった場合には、太枠で囲んだ部分を優先して調査することとし、マンホール内の調査は二次調査とする。

\* 注2) 二次調査では状況を該当する空欄に記入し、一次調査結果を補足する。





8-3. 管路施設のチェックリスト (記入例)

表-8-3-1 緊急点検・緊急調査チェックリスト

調査日時	平成23年3月14日(月)	記録者	集排 太郎		
地区名	0000	図面番号	B-15	人孔番号	3-4
道路種別	国道・県道・ <u>市町村道</u> ・私道・砂利道・農道 その他( )			管理者	
占用位置	<u>車道</u> ・歩道・その他( )				写真No 19~ 22
調査項目	路面との段差	段差なし・ <u>段差あり</u> (浮上約 10cm、沈下約 cm)			
	周辺路面状況	異常なし・ <u>陥没</u> ・ <u>隆起</u> ・亀裂・噴砂・噴水・その他 ( )			
	蓋の状況	<u>異常なし</u> ・破損・ずれ・その他 ( )			
	車両通行の可否	<u>可</u> ・非(人孔浮上、路面陥没のため車両通行困難)			
	マンホールから溢水	<u>溢水なし</u> ・溢水あり バキューム車 <u>不要</u> ・必要			
	中継ポンプ	異常なし・停電による停止・機器の故障による停止			
	真空弁ユニット (マンホール内)	異常なし・異常あり			
	真空ステーション	異常なし・異常あり			
緊急措置及び応急復旧の有無	無・ <u>有</u> <u>安全柵設置</u> ・路面すり付け その他( )				
被災状況、 緊急措置及び 応急復旧工事 状況写真					
					
					

表-8-3-2 一次調査・二次調査チェックリスト

都道府県	〇〇〇県	被災自治体	△△△市			調査主体	△△△市△△△課		
調査日時	平成23年3月18日(金)	地区名	〇〇〇〇			記録者	集排 太郎		
人孔番号	2-15	人孔深	2.50m						
人孔種別	0号・(1号)・2号・塩ビ・レジンコンクリート・その他( )組み立て・現場打ち								
中継ポンプ	(起動)・停止(故障・停電)								
真空弁ユニット	(起動)・停止(故障・停電)								
道路種別	国道・県道・(市町村道)・私道・砂利道・その他( )								
占用位置	(車道)・歩道・その他( )								写真No
人孔 障 害 状 況	路面との段差	段差なし・(段差あり) (浮上約 cm、沈下約 cm)							
	周辺路面状況	(異常なし)・陥没・隆起・亀裂・噴砂・噴水・その他( )							
	蓋の状況	(異常なし)・(破損)・ずれ・その他( )							
	ふた受枠状態	異常なし・(破損)・ずれ・その他( )							
	調整コンクリート	異常なし・(破損)・ずれ・その他(クラック)							
	斜壁	(異常なし)・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他( )・不明							
	直壁	(異常なし)・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他( )・不明							
	インパート	(異常なし)・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他( )・不明							
	滞水状況	(なし)・滞水深( cm) ※H=H2-H1							
	土砂堆積状況	(なし)・土砂堆積( cm)・不明							
悪臭の発生	(なし)・あり・住民から苦情あり( )								
汚水の流出	(なし)・あり・住民から苦情あり( )								
危険物の流入	(なし)・あり・住民から苦情あり( )								
管 口 状 況	路線番号	2							
	管種・管径(mm)	WUφ200							
	位置(下図No)	下流No1	No2	No3	No4	No5	No6	No7	No8
	本管突込み	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・(無)・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明
	本管拔出し	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	(有)・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明
	破損	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	(有)・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明
	浸入水	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	(有)・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明
	写真No								
	本復旧の必要性	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	(要)・不要	要・不要	要・不要	要・不要
	二次調査の必要性	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	(要)・不要	要・不要	要・不要	要・不要
応急工事の実施	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	(要)・不要	要・不要	要・不要	要・不要	
管内状況	異常なし・(たるみ)・土砂堆積・(滞水)・その他( )								
総 合 判 定	復旧(布設替)の必要性	(要)・不要							
	二次調査の必要性	要・(不要)							
	パキューム車の必要性	要・(不要)							
	応急工事の実施	(要)・不要							
備考・略図									

\* 注1) 本表は基本的には一次調査用とするが、地震の規模や集落排水施設の被害状況等により、調査項目が変わることもあり、特にその被害が広域にわたった場合には、太枠で囲んだ部分を優先して調査することとし、マンホール内の調査は二次調査とする。  
 \* 注2) 二次調査では状況を該当する空欄に記入し、一次調査結果を補足する。







写真帳

地区名：           〇〇〇          



実施年月日 令和〇年〇月〇日

No.23 遠景

---

---

---

---

---

---

---

---



実施年月日 令和〇年〇月〇日

No.23 マンホール内

---

---

---

---

---

---

---

---



実施年月日 令和〇年〇月〇日

No.24 遠景

---

---

---

---

---

---

---

---

写真帳

地区名：           〇〇〇          



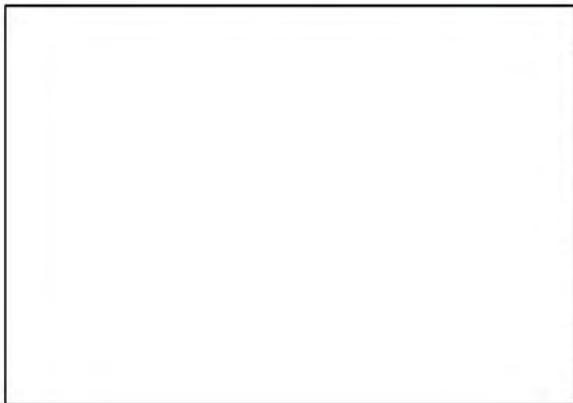
実施年月日 令和〇年〇月〇日

No.24 マンホール内  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



実施年月日 令和〇年〇月〇日

No.24 隆起t=10cm  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

